

## 令和2年度 第13回教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 令和3年3月3日（水）13：34～16：03
2. 場 所 本部棟2F会議室（戸畑） and Web会議
3. 出席者 学長，理事（研究・総務・国際・施設担当），  
理事（教育・学生・情報担当），  
理事（経営改革・財務担当），理事（広報・社会連携担当）  
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長，教養教育院長，  
副工学研究院長（副工学府長），副工学研究院長（副工学部長），  
副情報工学研究院長（副情報工学府長），  
副情報工学研究院長（副情報工学部長），副生命体工学研究科長，
4. 列席者 学長特別補佐（産学連携担当），副理事（学生担当），近藤監事

### 5. 議事要旨確認

令和2年度第12回（令和3年2月3日）の議事要旨（案）について確認が行われ、了承された。

### 6. 報告事項

- (1) 客員教授等の称号授与について (資料1，別添資料1)  
理事（研究・総務・国際・施設担当）から，令和3年4月1日付けで，新規に客員教授の称号を2名に授与することについて，報告があった。
- (2) 専門職教員の選考について (資料2，別添資料2)  
理事（研究・総務・国際・施設担当）から，次の専門職教員の選考について報告があった。  
①オープンイノベーション推進機構 設備共用推進領域  
マイクロ化総合技術センター 助教（専門職） 1名
- (3) 若手工学アカデミーによるワールド・カフェの実施 (資料3)  
学長から，若手工学アカデミーによるワールド・カフェの実施について報告があった。  
監事から，教職共働の取組である九工大ビジョン2040の策定は，少子化等の課題もあるが，プロセスも含め，未来につながる取組として期待するとの発言があった。
- (4) 令和3年度研究戦略支援事業について (資料4)  
理事（研究・総務・国際・施設担当）から，令和3年度に実施する研究戦略支援事業の概要及び公募予定時期について報告があった。  
学長から，研究を活発化するために，積極的に応募するよう要請があった。  
監事から，工業高等専門学校との研究連携支援事業は，大学院への進学に繋がる取組であり，工業高等専門学校と一体となって未来に繋げてほしいと意見があった。

(5) 学生の懲戒について (別添資料3)  
副理事(学生担当)から、本学の学生としての本分に反した行為を行った学生に対し、懲戒処分したことについて報告があった。学長から、各部局においては、再発防止に向けて取組むよう要請があった。

(6) 大学等における求人公募に係る申請手続きのオンライン化等の推進について (資料5)  
人事課長から、大学等における求人公募に係る申請手続きのオンライン化等の推進について報告があり、教員選考等における手続きの見直しについて、協力依頼があった。

## 7. 審議事項

(1) 名誉教授の称号授与について (資料6, 別添資料4)  
学長から、本学を令和3年3月31日に退職する1名の教授に名誉教授の称号を令和3年4月1日付けで授与することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 共同研究講座等((株)高田工業所)の継続設置について (別添資料5)  
理事(研究・総務・国際・施設担当)から、(株)高田工業所との共同研究講座の継続の設置・受入について説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 令和3年度国立大学法人九州工業大学年度計画(案)について (資料7)  
理事(入試・計画評価・ダイバーシティ担当)から、令和3年度国立大学法人九州工業大学年度計画(案)について説明があり、審議の結果、了承され、役員会に付議することとした。

(4) 入学試験委員会の廃止等について (資料8)  
理事(入試・計画評価・ダイバーシティ担当)から、全学の入学試験委員会の廃止等について説明があり、審議の結果、了承され、役員会に付議することとした。  
監事から、組織の統合及び見直しは、ガバナンスの環境整備のために重要であり、これからも推進するよう要望があった。

(5) 第一種奨学生に係る採用時返還免除内定候補者の選考について (資料9)  
副理事(学生担当)から、日本学生支援機構第一種奨学生(博士後期課程)に係る採用時返還免除内定候補者の選考について説明があり、審議の結果、了承された。

(6) 学生表彰候補者の選考について (資料10)  
副理事(学生担当)から、学生表彰規程第5条の規定に基づき、学生表彰の被対象者について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、社会貢献賞の部において不採択となった候補者については、特別賞を授与することとなった。  
なお、学生表彰規程における選考基準については、状況の変化を踏まえて見直しを検討していることについて補足説明があった。

- (7) 押印, 書面及び対面手続きの廃止に係る学内規則等の一部改正について (資料 11)  
総務課長から, 押印, 書面及び対面手続きの廃止に係る学内規則等の一部改正について説明があり, 審議の結果, 了承され, 役員会に付議することとした。  
学長から, 業務の見直しを行い, 業務のデジタル化を推進するよう要請があった。
- (8) 就業規則の一部改正について (資料 12)  
人事課長から, 就業規則の一部改正について説明があり, 審議の結果, 了承され, 役員会に付議することとした。
- (9) 教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について (資料 13)  
理事 (教育・学生・情報担当) から, 本日の役員会で設置が決定された教育職員選考委員会のうち, 教育研究評議会が指名する委員の選出について説明があり, 審議の結果, 次のとおり了承された。  
①学習教育センター 教授または准教授 1名  
〔梶原 誠司 理事, 安田 隆 教授〕
- (10) 昇任適格審査委員会の審査結果について (別添資料 6)  
工学研究院長及び生命体工学研究科長から, 昇任適格審査委員会の審査結果について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり了承された。
- (11) 教育職員の選考について (資料 14, 別添資料 7)  
工学研究院長, 情報工学研究院長及び生命体工学研究科長から, 次の教育職員の選考について説明があり, 審議の結果, 了承され, 役員会に付議することとした。  
①工学研究院 宇宙システム工学研究系 教授 1名  
②工学研究院 電気電子工学研究系 准教授 1名  
③情報工学研究院 情報・通信工学研究系 准教授 1名  
④生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 人間知能機械講座 教授 1名  
学長から, 外国人教員が活躍できる環境について, 改善の必要があれば, 改善策について提案して欲しいとの要請があった。
- (12) 教育職員の懲戒処分について (別添資料 8)  
理事 (研究・総務・国際・施設担当) から, 教育職員の懲戒処分について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり了承され, 役員会に付議することとした。  
学長から, 再発防止に向けて, 適切な学習環境保持のために最大限努力していくことについて補足説明があった。

## 8. その他

- (1) 今年度の振り返りについて  
学長から, コロナ禍での自発的な様々な活動など, 多大なる協力について謝辞があり, 今年度を振り返り, 以下の発言があった。

- 第3期中期目標中期計画の最終年度である来年度においては、第3期のまとめと、第4期以降のビジョン策定に向けて協力要請があった。
- 両学部においては学部改組の最終年度となるため、検証し、見直しが必要であれば検討を開始するよう要請があった。
- ハラスメントについては、今年度にハラスメント防止に係る学長宣言を行い、来年度は再発防止に向けたアクションプランを実施予定である。
- 社会からの信頼や活動への共感を得られるよう、引き続き取り組んでいきたい。

(2) 教育研究評議会の次回開催日について

令和3年4月7日（水）午後1時30分から開催する予定。場所は未定。